



令和元年 7 月 17 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学  
国立大学法人お茶の水女子大学

日本最初の女性帝国大学生・黒田チカ博士が結ぶ縁と未来  
～東北大学とお茶の水女子大学との連携協定締結式の開催～

東北大学が「門戸開放」の開学理念のもと 1913 年に日本の大学で初めて受け入れた女子学生 3 名のうち 2 名はお茶の水女子大学の前身である女子高等師範学校の卒業生でした。うち黒田チカ氏は、東北大学で理学博士を取得後、母校である東京女子高等師範学校に戻り、教鞭をとりました。

このような歴史を共有する両大学は、この度、AI・数理・データリテラシー教育、グローバル女性リーダー育成、ダイバーシティの推進等を目的に、お互いの強みをもって協力体制を構築し、クロスアポイントメントを活用した研究力強化、研究拠点形成、研究成果の社会実装、協働人材育成などを通じて、社会課題を解決し、社会の発展、産業振興に寄与することを目指して、包括連携協定を締結します。

これに伴い、以下の通り協定締結式を開催いたしますので、是非、取材をご検討いただければ幸いです。

記

日 時：令和元年 7 月 19 日（金）13:30～14:30（取材受付 13:00～13:30）

場 所：東北大学東京分室  
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 JR 東京駅日本橋口ビル サピアタワー 10 階）

出席者：東北大学総長 大野 英男  
お茶の水女子大学学長 室伏きみ子 ほか

内 容：

1. 両機関代表挨拶  
東北大学総長 大野 英男  
お茶の水女子大学学長 室伏きみ子
2. 協定内容の説明
3. 協定書調印（署名）
4. 記念写真撮影
5. 記者会見・質疑応答

※ 取材を希望される方は、【別紙】事前登録票を 7 月 18 日（木）17 時までに、総務企画部広報室（FAX 番号 022-217-4818）宛て、送付願います。

## 【詳細】

### 1. 協定の概要

#### (1) 協定締結の目的と概要

両大学がそれぞれの特色及び教育研究資源を活かして相互に連携協力し、AI・数理・データリテラシー教育、グローバル女性リーダー育成、ダイバーシティ推進等、大変革時代の社会を先導できる人材の育成や教育の充実並びに研究の推進に寄与することを目的とします。

東北大学では、1913年に日本で初めて帝国大学として女子学生3名の入学を許可しています。その一人である黒田チカ氏は、女性のための日本初の高等教育機関 女子高等師範学校（当時、のちに東京女子高等師範学校への名称改変。お茶の水女子大学の前身）に学び東北帝国大学に入学、天然色素の研究に従事し、日本初の女性理学士、日本で2番目の女性理学博士となり、東京女子高等師範学校教授、お茶の水女子大学教授として教鞭をとりました。黒田チカ博士の足跡は、自然科学研究を志す女子学生のシンボルとして継承され、お茶の水女子大学「保井・黒田奨学基金」、「黒田チカ賞」、東北大学理学研究科「黒田チカ賞」が設けられています。

今般、この縁を契機に両大学間で連携協力協定を締結し、まずは、クロスアポイントメントによる研究者交流として、東北大学からはお茶の水女子大学の工学・情報科学系教員ニーズに応じて同分野教員を派遣し、お茶の水女子大学からは東北大学のダイバーシティ推進のために教員を派遣します。

#### (2) 連携の内容

①お茶の水女子大学における工学・情報科学分野の深化に資する共同研究・社会実装に向けた連携

例) 文理融合 AI・データサイエンス領域の拠点形成

AI/IoT を駆使した文理融合型研究の教育・研究拠点を旨指すとともに、女性のアクセシビリティを意識した社会実装に向けた共同開発、事業化に、クロスアポイント等を活用することにより連携して取り組む。

②東北大学における研究・教育・人材育成に向けた連携

組織的にダイバーシティを推進する観点から交流を図る。

共同研究としては、以下の取組を進める。

例) 進化生物学的研究領域の拠点形成

近年、情報科学的アプローチの導入により進展が著しい進化生物学領域の研究拠点形成を旨指し、クロスアポイント等を活用することにより連携して取り組む。

その他、工学系（建築専攻）、文学系（心理学専攻）等を先駆事例として推進する。

#### (3) 協定締結により想定される取組

- ・クロスアポイントメントを活用した研究者交流による人材循環の環境づくり
- ・組織文化の垣根を超えた創造的交流による分野融合の場の形成
- ・学生交流を通じてグローバルな社会展開を実現できる卓越した人材の育成
- ・企業との共同研究への合同参加による産学連携の活発化

- ・国際共同大学院の活性化などによる国際協働の推進

#### (4) 有効期間

第3期中期目標期間中（協定締結日～令和4年（2022年）3月31日）

※有効期間満了の2ヶ月前までに両大学のいずれからも申し出のないときは、さらに1年を有効期間として更新するものとし、その後も同様とする。

#### 2. 取材に関する留意事項

- (1) 受付時間内（13:00～13:30）に受付を済ませてください（時間厳守）。
- (2) 取材の際、腕章を着用して、報道関係者であることを明らかにしてください。
- (3) 取材に当たっては、指定された取材区域を守ってください。
- (4) 取材に当たっては、職員の指示に従ってください。
- (5) 駐車場は用意しておりませんので、公共交通機関等でお越しいただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

#### 3. 問合せ先

国立大学法人東北大学

総務企画部広報室

TEL：022-217-4977

FAX：022-217-4818

Mail:koho@grp.tohoku.ac.jp

東北大学総務企画部広報室広報係 行

FAX 番号 : 022-217-4818

御取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX にて 7 月 18 日 (木)  
17 時までに御返信ください。

日 時 : 令和元年 7 月 19 日 (金) 13:30~14:30 (受付 13:00~13:30)

場 所 : 東北大学東京分室

(東京都千代田区丸の内 1-7-12 J R 東京駅日本橋口ビル サピアタワー10 階)

件 名 : 東北大学とお茶の水女子大学との連携協定締結式の取材について

御社名 : \_\_\_\_\_

御所属 : \_\_\_\_\_

御芳名 : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

Email : \_\_\_\_\_